

(1) 工事コストの低減

⑰建設副産物対策

工事コストの低減

東北地方整備局新庄工事事務所 平根地区開削水路工事

【施策の概要】

従来、工事の際に発生する伐根材については、中間処理場に運搬搬入し焼却処理をしていたが、移動式破碎機を用いた木材の中間処理を行う業者を活用し、伐根材の処理コストの縮減と副産物のリサイクルを図りました。

なお、破碎した伐根材（チップ化済み）については、処理業者が堆肥化し再利用を行っています。

【施策のポイント】

・従 来

中間処理場へ搬入

・採用工法  $11,740\text{円}/\text{m}^3 \times 1,600\text{m}^3 = 18,784\text{千円}$

現場で破碎処理して運搬

$10,500\text{円}/\text{m}^3 \times 1,600\text{m}^3 \times 0.5 = 8,400\text{千円}$

(単価はチップ体積に対するもののため、減量率0.5を考慮)

トータル縮減額は約10百万円となり、縮減率は7.6%となりました。

【施策の実施状況・イメージ図】

(従来：現場打ちコンクリートによる施工)

